

# 割安な高压電力提供

## 岩手の協同組合

# 電圧下げ一般向け

## 本県でも本格営業開始

割安な高压電力を変圧して集合住宅やコンビニエンスストアなど小規模店舗に提供している岩手県の協同組合エナジーサービス(盛岡市)が、国の認可を得て、本県でも今月から営業を始めた。電力会社への支払いに比べて、毎月の電気料金が5〜15%、年間平均で約70万円節約できるといふ。

岩手県協同組合エナジーサービス代表取締役社長は「景気は不安定だが、長期的に安定したビジネスを目指す。組合と利用者として利益を分かち合いたい」と話す。

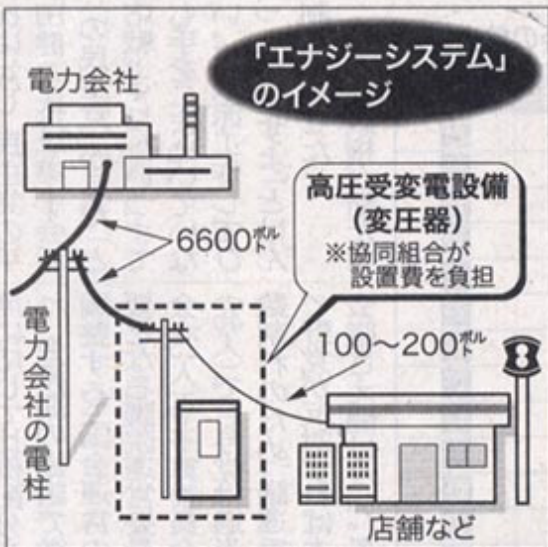
同組合は、変圧器の設置費用が約1割引きになる記念キャンペーンを先着20社限定で開催。期間は今月25日から9月24日まで。詳細は同組合ホームページ(<http://energy-service.main.jp>)、問い合わせは同組合(電話019・681・2108)へ。

同組合のサービス「エナジーシステム」では、同組合が電力会社から、単価が安い6600ボルトの高压電力を買い、高压受変電設備(変圧器)で一般向けの100〜200ボルトに電圧を下げて提供する。

同組合が設置する変圧器の費用は利用者が同組合に支払う月額約6割、動力(200ボルト)が約4割として、1日16時間営業を年中無休で続けたところ、年間の電気料金が従来約228万円から約165万円に減少。利用の目安として、月額電気料金が15万円以上の場合には節約効果が期待できるという。

「エナジーシステム」のイメージ

高压受変電設備(変圧器)  
※協同組合が設置費を負担



同組合は岩手県の電気機械器具卸売業や不動産賃貸業など10社で、2009年11月に設立。本年度、営業範囲を東北全体に広げ、来年度には北海道、関東進出を目指している。